

団体・組織の概要

※太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

団体/会社名	株式会社やまさき企画		
代表者	山崎節也	担当者	山崎節也
所在地	〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘一丁目18-3-6-405 TEL:090-4007-8543 FAX:050-3466-1252 E-mail: setsuya@yamasaki.ecweb.jp		
設立の経緯 ／沿革	「世の中、難問山積」です。専門家だけに任せておけません。たとえば地球温暖化問題については、専門家が対策を考え、国民は「電気の節約」なのでしょうか？ 高齢者の福祉機器はどうでしょうか？もっと便利なものを、専門家ではなくても、また技術分野については素人であっても、解決手段を考え社会に提案することは有意義であると思います。 これまで環境機器・福祉機器・生活用品など約30件の特許出願・実用新案登録などをしてまいりましたが、平成19年10月株式会社やまさき企画を設立し、これらの商品化・実用化とともに、更に積極的に「世の中の山積する難問・課題」に取り組むことにより、微力ながら社会の発展に貢献してゆく所存であります。		
団体の目的 ／事業概要	事業目的 商品企画開発およびコンサルティング 1. 健康機器及び福祉介護用具の研究開発、商品企画 2. 省エネルギー機器その他環境機器の研究開発、商品企画 3. 日用雑貨の研究開発、商品企画		
活動・事業実績 (企業の場合は 環境に関する 実績を記入)	弊社は生活・福祉・環境分野において様々な企画開発を行っております。弊社のHP http://www.yamasaki.ecweb.jp をご参照願います。 環境に関しては次の通りです。 ・エコ熟睡エアコン・・・エアコンのタイマー装置のエコ化 ・防犯エコ網戸・・・低炭素となり近所 ・エコロジー空港・・・航空機の排熱・排ガス利用 ・分別回収つまようじ ・駅前からの街並みづくり ・低炭素お風呂・・・和風お風呂と入浴法の再評価 ・スリッパ融合シューズ・・・靴底からクールビズ		
ホームページ	http://www.yamasaki.ecweb.jp		
設立年月	2007年10月 *認証年月日(法人団体のみ) 2007年10月10日		
資本金/基本財産 (企業・財団)	500,000円	活動事業費/ 売上高(H20)	円
組 織	スタッフ/職員数 1名 (内 専従 1名) 個人会員 名 ; 法人会員 名 ; その他会員(賛助会員等) 名		

政策のテーマ

駅前からの街並みづくり

■政策の分野

- ・持続可能な地域づくり
- ・地球温暖化の防止

■政策の手段

- ・地方の駅前の街並みづくり
- ・国民の参加促進

団体名：株式会社やまさき企画

担当者名：山崎節也

■キーワード	地域環境・エコな街づくり	ヒートアイランド対策	地球温暖化防止	商店街の活性化	地域経済の活性化
--------	--------------	------------	---------	---------	----------

① 政策の目的

地方の駅前の街並み作りの推進により、エコ生活・福祉社会の実現、ヒートアイランド現象の軽減、商店街の活性化、地域経済の活性化させるとともに、「ここで育つ子どもは幸せだ」をいえる町、「高齢者が散歩し会話」のできる町にすること。車がなくても生活できる町にすること。

② 背景および現状の問題点

どこの地方都市に行っても、JR の駅を出ると、正面には大きなロータリーがあり、片側3車線の道路があります。その両側には、人通りの少ない活気を失った商店街があります。目に付くのは消費者金融の看板です。

かつて JR の駅の周辺には、それぞれに特色のある街並みが広がっていたはずですが、今では、途中下車しようと思うような駅は少なくなっていました。駅周辺地域は、地域生活の中心ではなくなり、単なる交通機関の乗り換え地点です。

片側3車線の大きな道路の両側にある商店街では、不便でさびれるのは当たり前です。商店街は「人が行き交う路の両側」に続く街であって、「車が行き交う道路の両側」には、シャッター通りが続くことになります。

こんな場所では、横断歩道と信号機があっても高齢者には、「早く渡れ!」「急げ!」と、せきたてられる思いでしょう。どうすれば住みよい町になるのか考えてはいかがでしょうか。子供にとって住みよい町、高齢者にとって住みよい町、主婦にとって住みよい町です。そして活気ある町です。

子供たちは将来、「私の生まれた町は、・・・・」と説明する場面がでてくるはずです。「駅をでると、大きなロータリーと片側3車線の道路があって、人通りは殆ど無く、目立つのは消費者金融の看板」というところで子供を育てるわけにはゆきません。

駅前から豊かな街並みが続いていれば、多くの観光客も訪れるはずです。そして観光客が「ここで生まれ育つ子どもたちは幸せだ」と思うような街並みを築くことが求められています。

③ 政策の概要

次の通り提案します。(イメージは鎌倉鶴岡八幡宮の参道です)

- ①**駅正面の道路を片側 1 車線**にする。中央の 4 車線を**遊歩道**にする。遊歩道には市の木・県の木を植え並木道にする。花壇もつくる。ベンチもつくる。
- ②遊歩道は、2 k m ぐらいの長さは欲しい。交差点の中央も遊歩道のスペースに。交差する車道も、交差点近くでは片側 1 車線にする。
- ③交差点の中央にも信号機を取り付ける。車道 1 車線の眼の高さに信号機を。

町の中心を貫く並木道があるので、**夏は涼しく冬は暖かい**。夏が涼しければ、エアコンはいりません。商店街にも入口や窓が大きく開かれた商店が並ぶことになります。商店がショーウィンドウになり、商店街がシャッター通りになった原因は、「冷暖房完備」ではないでしょうか。風通しの良い店だから、千客萬来であったはずです。

この街並みづくりは並木づくりです。大切に育てることにより、5 年後 1 0 年後に豊かで活気に満ちた街並みが再生されます。太陽の光が強ければ木陰をつくり、風が吹けば木の葉を揺らし、雨が降れば土地を豊かにします。「ここに自分の店を持ちたい」という人達が、商店街を延ばしてゆきます。

簡単に渡れるので、**道路両側の商店街が一体化**し活性化されるでしょう。片側 1 車線の道路ですから徐行運転で路上駐車もなくなります。電車からの眺めは素晴らしく途中下車して歩いてみたい街並みです。

④ 政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

「駅前からの街並み作り」

本政策は、駅前への道路の中央の四車線を並木道（散歩道）にして、駅からは「県の木」「町の花」などを植えた並木道が遠くまで見渡せ、すくなくとも 2 k m は散歩できることです。これがエコロジーで活気のある街並み作りです。

具体的には；

- (1) 地方都市各地の「駅を降りれば大きなロータリーがあって片側 3 車線の道路がある」という景観を、「駅を降りれば大きな広場があって、ずっと先まで並木道（散歩道）が続いていて、片側 1 車線の車道を渡れば商店街がある」という景観につくりかえること。「駅前からの街並みづくり」です。
- (2) 並木道には、ベンチや花壇、できれば小川もつくります。並木道から車道 1 車線を渡れば商店街です。車道を簡単に渡れるので、両側の商店街が一体化されます。商店街の活性化です。そしてエコロジーな生活環境です。
- (3) 交差点の中央にも並木道（散歩道）をつくります。つまり一車線渡れば並木道、また 1 車線渡れば並木道とします。歩行者信号機は眼の高さに設置します。市の中心を貫く並木道です。ヒートアイランド現象は軽減されるはずです。エアコンの利用は大幅減となります。

費用対効果

- (費用) 県道・市道などの公有地の利用ですから、用地買収には費用がかかりません。
- (環境効果) 緑が豊かで、子ども達から高齢者まで、車ではなく「人が中心」の街並み（生活環境）です。夏は涼しく冬は暖かい。地球温暖化防止にも、ヒートアイランド現象の軽減にもなります。
- (経済効果) 商店街が活性化されます。観光客が多く集まります。地元の中小建設会社が、地域経済に活力を与えます。

⑤ 政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

現時点では具体的な提携・協力主体はありませんが、各地のNPO法人などに呼びかけてゆきたいと考えます。

⑥ 政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

期待される効果として次の通り；

（１）エコロジー生活環境の実現

全国各地で、まさに「コンクリートから人」への快適なエコロジー生活環境を実現させる効果が期待できます。車がなくても生活できる環境の実現です。

（２）ヒートアイランド現象の低減と地球温暖化防止

市街地中央を縦断する並木道を育てることにより、ヒートアイランド現象が軽減されるとともに、エアコンに頼らない生活環境を実現することができると考えます。

（３）商店街の活性化

道路両側の商店街が一体化され、商店街の活性化が期待できます。

（４）地域振興・地方経済対策

豊かな街並みを築くことにより、観光客の増加などの経済効果とともに、地元の中小建設会社による道路の改造・遊歩道の建設という経済効果と雇用創出が期待できます。

⑦ その他・特記事項

特になし